

入学生代表挨拶

このたび入学する皆様を代表いたしまして、一言ご挨拶申し上げます。

本日はこのような場を設けていただきましたこと、またご多用の中ご臨席賜りましたご来賓の皆様、並びに放送大学関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。

私は、現在、宮崎県で林業用の苗木を生産する会社の経営に携わっております。山で木が伐採された後、次の森林をつくるために植えられる苗木を育てる仕事です。

もともとはこの仕事とはまったく異なる道を歩んでおりました。短期大学では音楽と教育を学び、その後、縁があり情報系の会社に就職いたしました。結婚を機に夫の家業を手伝う形で林業の世界に入り、10年以上、現場から経営まで実務の中で多くのことを学んでまいりました。

近年ウッドショックの発生や担い手不足、断続的な賃上げに物価高、環境リスク増大など、林業を取り巻く環境は大きく変化しています。そうした中で、ただ良いものをつくるだけでは事業は成り立たないと強く感じるようになり、林業全体の流れを理解した上で経営を行うことの必要性を認識するようになりました。

数年前から独学で経営や経済学を学び、実際の仕事に当てはめながら理解を深めてまいりました。その中で、それまで当たり前だと思っていたことに疑問を持つことが増え、より体系的に社会や経営を学びたいという思いが強くなりました。

そんな中、研究で一緒している先生から伺った「放送大学でも学士が取れるよ」という言葉をふと思い出し、その数十分後には勢い半分で資料請求をしていました。それが、ほんのふた月前のことです。

そして今、こうして入学生代表としてご挨拶させていただくこととなり、どこか呼ばれたような、引き寄せられたような不思議な感覚を覚えております。

これからの放送大学での学びを通して、目の前の事業だけでなく、それを取り巻く社会や産業の動き、制度や背景まで理解を深めていきたいと考えております。その学びを現場での判断や意思決定に生かし、持続可能な事業につなげ

ていきたいと思ひます。

この場には、年齢や職業、学ぶ目的の異なる多くの方々が集っておられることと思ひます。同じ宮崎で学ぶ仲間として、互いに刺激を受けながら、それぞれの目標に向かつて学びを深めていけることを楽しみにしております。

最後になりますが、先生方、宮崎学習センターの皆様には、これからご指導、ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

以上をもちまして、入学生代表の挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

令和8年3月22日
入学生代表 林田 洋子